

小型強力モータを内蔵した「オークラ モーターローラ」はオークラFA (Flexible Automation) の力強いパートナー。
コンベヤラインの完成度を高め自動機のより高い機能を引き出します。
この「オークラ モーターローラ」をグラビティローラコンベヤに組み込んだのが「モーターローラコンベヤ」。
手軽で経済的な駆動コンベヤとして、様々な用途にご使用いただけます。

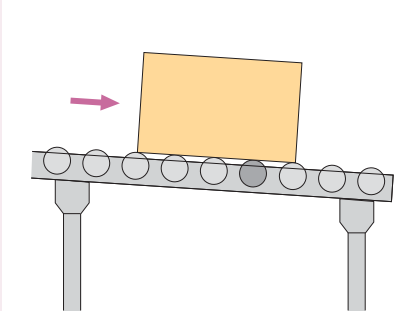
■モーターローラの型式と適用仕様

ローラ径	機種	タイプ	主な特長	RW 呼称ローラ幅 (mm)	240	300	305	390	400	490	500	600	620	690	700	790	800	890	900	990	1,000
				FW フレーム内幅 (mm)	250	310	315	400	410	500	510	610	630	700	710	800	810	900	910	1,000	1,010
φ38	PSQ	S：スタンダード	φ38の小径ローラタイプ 注)④		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
φ42.7	PSP	S：スタンダード	PR型フリーローラと互換性のある汎用タイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PAP	A：アキュム	通電したまま長時間の拘束が可能		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PNP	N：R900 テーパローラ	カーブ内R半径がR900の テーパタイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PCP	C：R500 テーパローラ	カーブ内R半径がR500の テーパタイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
φ48.6	PSL	S：スタンダード	LR型フリーローラと互換性のある汎用タイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
φ57	PSS	S：スタンダード	SR型フリーローラと互換性のある汎用タイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PAS	A：アキュム	通電したまま長時間の拘束が可能		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PHS	H：高トルク	スタンダードよりも高トルクなタイプ 注)⑤		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PSS-E	特定機能 E：ドライブ・フリー	通電時はモーターローラ、 非通電時はフリーローラ 注)⑥		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PSS-V 注)⑦	特定機能 V：Vブーリ付	Vブーリで補助ローラを連動 させるタイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
φ60.5	PSM	S：スタンダード	MR型フリーローラと互換性のある汎用タイプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PHM	H：高トルク	スタンダードよりも高トルクなタイプ 注)⑤		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

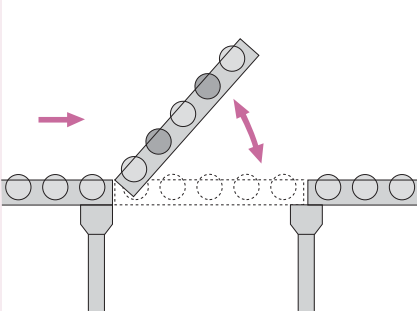
※●印は標準です。

■用途例

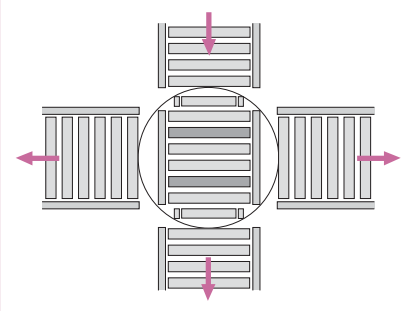
■自走ライン(ブレーキ・再起動)



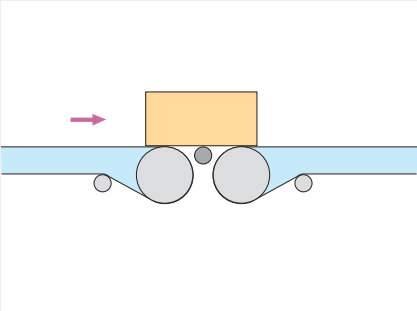
■駆動ローラのはね上げ装置



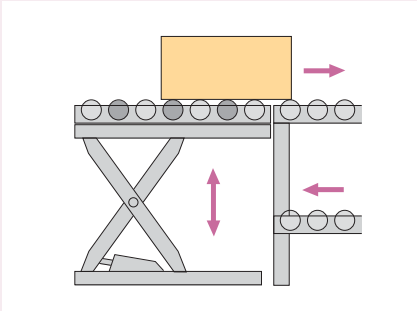
■ターンテーブル上面に取り付けて分岐装置



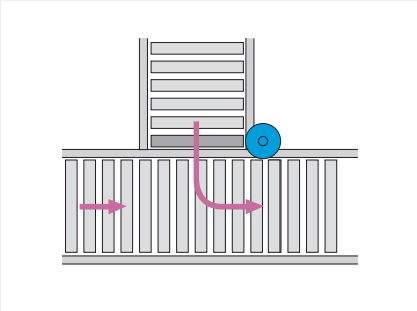
■ベルトコンベヤ・スラットコンベヤのつなぎ部分



■テーブルリフタとの組み合わせ



■直角方向転換機



※●印は標準です。

機種	速度記号 (呼称周速度) (m/min)	電源		使用環境と特定機能 (各種仕様)										ゴムライニング NR：天然ゴム UR：ウレタンゴム NB：ニトリルゴム CR：ネオプレンゴム	インバータ 対応	コンベヤ 型式	備 考
				防塵	防滴	防水	ブレーキ	防塵 ＋ ブレーキ	防滴 ＋ ブレーキ	防水 ＋ ブレーキ	ドライブ・ フリー	Vブーリ					
		200V (三相)	100V (単相)	D	I	J	B	DB	IB	JB	E	V					
PSQ	5、8、10、 15、20、30	●	●	－	●	●	●	－	●	－	－	－	●	－	－	注) ①異電圧は弊社営業部 までお問い合わせください。 但し、電源380V以上は 対応できません。 ②周速度は搬送物の材質 や質量により変動しま す。 ③防滴仕様、防水仕様は シール抵抗でトルクが 低下するため、速度記 号に制限があります。 ④端子台・回り止め金具 のシャフト穴は横向き になります。 ⑤高トルクタイプは短時 間定格モータのため、 定格出力で一定時間の みの運転となります。 ⑥PSS-E（ドライブ・フ リー）非通電時（電源 OFF時）は、ギヤ抵抗 の無いフリーローラに なります。 ⑦PSS-Vは旧型式の PWS-V、PHS-Vと比 べ、外形や構造が異な ります。また、リード 線出口はVブーリ側に なります。 ⑧各種仕様は呼称ローラ 幅、速度記号、電源に 制限があります。また、 入力電流、入力電力も 異なる場合があります。 ※詳細は各機種のページ をご参照ください。	
PSP	6、8、12、 18、26、37	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	●	－	WPE			
PAP	6、8、12、 18、26	●	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	WPA		
PNP	6、8、12、 18、26、37	●	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	△ 620RW以上	WEN		
PCP	6、8、12、 18、26、37	●	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	△ 620RW以上	WEC		
PSL	5、10、15、 20、30、40	●	●	－	●	●	●	－	●	－	－	－	●	○	－		
PSS	4、8、10、15、 20、30、40	●	●	●	●	－	●	●	●	●	－	－	●	○	WSW		
PAS	4、8、10、 15、20	●	－	●	●	●	－	－	－	－	－	－	●	－	WSA		
PHS	4、8、10、15、 20、30、40	●	－	●	●	●	●	●	●	●	－	－	●	○	WSH		
PSS-E	4、8、10、15、 20、30、40	●	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	●	○	－		
PSS-V 注)⑦	4、5、8、10、 17、25、30、 40	●	－	－	－	－	●	－	－	－	－	●	●	○	WSSV		
PNS	4、8、10、15、 20、30、40	●	●	●	－	－	●	－	－	－	－	－	●	○	WTT		
PSM	4、5、8、10、 15、20、30、 40	●	－	●	●	●	●	●	●	●	－	－	●	○	－		
PHM	4、5、8、10、 15、20、30、 40	●	－	●	●	●	●	●	●	●	－	－	●	○	－		

ローラ径 $\phi 38$



PSQ/スタンダード

ローラ径 $\phi 42.7$



PSP/スタンダード



PNP/R900テーパローラ



PAP/アキュム



PCP/R500テーパローラ

ローラ径 $\phi 48.6$



PSL/スタンダード

ローラ径 $\phi 57$



PSS/スタンダード



PHS/高トルク



PSS-V/Vプリー付



PAS/アキュム



PSS-E/ドライブ・フリー



PNS/R900テーパローラ

ローラ径 $\phi 60.5$



PSM/スタンダード



PHM/高トルク

■モーターローラ型式例および型式記号の説明

■スタンダードタイプ、アキュムタイプ、テーパローラタイプ、高トルクタイプ

	1	2	3		2		3		4		5	6		7	
P	S	Q	-	I	B		-	390	-	8	-	X	1	-	NR

■ドライブ・フリータイプ (PSS-E)

1	2	3	4	2		3		4		5	6	7	
P	S	S	-	E		390	-	15	-	Z	5	-	NR

■Vプリー付タイプ (PSS-V)

1	2	3	4	2		3		4		5	6	7		
P	S	S	-	V	B	-	390	-	17	-	Z	5	-	NR

記号	仕様
P	モーターローラ

記号	タイプ
S	スタンダード
A	アキュム
N	R900テーパローラ
C	R500テーパローラ
H	高トルク

記号	ローラ径(mm)
Q	$\phi 38$
P	$\phi 42.7$
L	$\phi 48.6$
S	$\phi 57$
M	$\phi 60.5$

記号	特定機能
E	ドライブ・フリー仕様 (PSS-E専用)
V	Vプリー付仕様 (PSS-V専用)

記号	使用環境と特定機能 (各種仕様)
空白	標準 (各種仕様なし)
D	防塵仕様 (保護等級IP50)
I	防滴仕様 (保護等級IP55)
J	防水仕様 (保護等級IP65)
B	ブレーキ仕様

3	RW呼称ローラ幅
---	----------

4	速度記号
---	------

5	6	電源
記号	5	電源の種類
Z		三相
X		単相
記号	6	電圧×周波数
5		200V×50/60Hz
1		100V×50/60Hz

7	ゴムライニング (各種仕様) (標準厚み:3mm)
記号	
空白	ライニングなし
NR	天然ゴム
UR	ウレタンゴム
NB	ニトリルゴム
CR	ネオプレンゴム (クロロプレンゴム)

注) ・①～⑦の組み合わせはP81・82「モーターローラの型式と適用仕様」をご参照ください。
 ・②使用環境と特定機能 (各種仕様)、③RW呼称ローラ幅、④速度記号、⑤電源の種類、⑥電圧×周波数は機種により選択範囲が異なります。また、組み合わせによりそれぞれ制限があります。詳細は各機種ページをご参照ください。